



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス
 コード番号 9619 URL <https://www.ichinenhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-----|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 42,654 | 4.7 | 3,334 | 8.2 | 3,386 | 9.1 | 3,294 | 71.2 |
| 2018年3月期第2四半期 | 40,756 | 4.1 | 3,081 | 9.1 | 3,105 | 15.3 | 1,924 | △3.0 |

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,315百万円 (27.6%) 2018年3月期第2四半期 2,598百万円 (61.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 133.94 | — |
| 2018年3月期第2四半期 | 78.23 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 127,710 | 33,008 | 25.8 | 1,341.90 |
| 2018年3月期 | 118,476 | 30,136 | 25.4 | 1,225.13 |

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 33,008百万円 2018年3月期 30,136百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 18.00 | — | 18.00 | 36.00 |
| 2019年3月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 2019年3月期 (予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 86,000 | 5.7 | 6,100 | 3.1 | 6,100 | 2.5 | 5,160 | 34.1 | 209.77 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）TOYOSHIMA INDIANA, INC.、蘇州豊島機械配件有限公司 除外 1社 （社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期2Q | 24,612,227株 | 2018年3月期 | 24,612,227株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期2Q | 13,680株 | 2018年3月期 | 13,622株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年3月期2Q | 24,598,567株 | 2018年3月期2Q | 24,598,790株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)におけるわが国経済は、経済政策や金融政策の効果により企業収益や雇用情勢の改善が続き、個人消費も持ち直し、緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済も全般的に回復基調を維持しておりますが、通商問題の動向及び影響、新興国等の経済の動向など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、事業を通じて、全てのお客様に「いちねんで、いちばんの毎日を。」ご提供し、社会に貢献できる企業を目指しております。基盤事業である自動車リース関連事業を中心に、ケミカル事業、パーキング事業、機械工具販売事業、合成樹脂事業を展開しております。また、既存事業の強化を進めながら、事業領域の枠にとらわれない新規事業への参入、規模拡大を目的とした積極的なM&A、海外展開にも挑戦しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は426億54百万円(対前年同期比4.7%増)、営業利益は33億34百万円(対前年同期比8.2%増)、経常利益は33億86百万円(対前年同期比9.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億94百万円(対前年同期比71.2%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<自動車リース関連事業>

リースにおきましては、リース契約車両は依然として小型化傾向にありますが、リース化の進んでいない地方市場及び中小規模の企業を中心に新規販売を積極的に行い、また、既存顧客との取引深耕にも注力した結果、2018年9月末現在リース契約台数は81,426台(対前期末比471台増)となり、リース契約高は171億4百万円(対前年同期比1.9%増)、リース未経過契約残高は721億46百万円(対前期末比2.6%増)となりました。

自動車メンテナンス受託におきましては、当社グループ独自の自動車整備工場ネットワークによる高い点検実施率を強みとしながら、契約台数、契約残高の増加に努めた結果、メンテナンス受託契約台数は83,266台(対前期末比3,241台増)となり、メンテナンス受託契約高は30億16百万円(対前年同期比1.0%減)、メンテナンス未経過契約残高は81億円(対前期末比2.9%増)となりました。

燃料販売におきましては、主に自動車用燃料給油カードにおいて、低燃費車の普及により需要が減少傾向にありますが、既存顧客へのサービス向上並びに新規顧客の獲得に注力いたしました。

損益面では、リースは契約台数及び車両処分台数が増加したこともあり堅調に推移いたしました。自動車メンテナンス受託も契約台数が増加し堅調に推移いたしました。燃料販売は販売数量が堅調に推移いたしました。仕入価格が上昇し、小売市況悪化により販売価格への転嫁が進まず厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は243億25百万円(対前年同期比4.7%増)、セグメント利益は19億19百万円(対前年同期比1.5%増)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、商品開発力の強化及び品質向上に取り組むとともに、付加価値の高い商品の販売に注力いたしました。

損益面では、工業薬品関連の燃料添加剤の販売は減少いたしました。石炭添加剤の販売は順調に推移いたしました。

また、化学品関連では機械工具商向けケミカル製品が堅調に推移いたしました。個人向けケミカル製品の販売が減少いたしました。

この結果、売上高は54億16百万円(対前年同期比2.1%減)、セグメント利益は5億96百万円(対前年同期比14.5%減)となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大に努めた結果、2018年9月末現在駐車場管理件数は1,252件(対前期末比39件増)、管理台数は29,221台(対前期末比177台増)となりました。

損益面では、新規駐車場の開発が順調に進み、また、既存駐車場の継続的な収益改善活動の効果もあり収益が増加いたしました。

この結果、売上高は28億7百万円(対前年同期比5.5%増)、セグメント利益は4億35百万円(対前年同期比36.5%増)となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、取扱アイテムの拡充、オリジナル製品の開発を促進するとともに商品調達コスト及び物流コストの軽減に努めてまいりました。

損益面では、空調工具及び計測工具の販売は堅調に推移いたしました。機械工具及び自動車整備工具の販売は減少いたしました。また、前連結会計年度に新たに連結子会社となった株式会社ゴンドーと株式会社イチネンSHOKOに加え、当連結会計年度に新たに連結子会社となった株式会社トヨシマが販売増加に寄与いたしました。

この結果、売上高は77億12百万円（対前年同期比19.0%増）、セグメント利益は2億59百万円（前年同期は1億10百万円のセグメント利益）となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、新規顧客の拡大及び新商品の開発を図るとともに品質改善に努めてまいりました。

損益面では、遊技機メーカーへの合成樹脂製品の販売が減少いたしました。半導体実装装置メーカー等へのセラミックヒーターの販売及び科学計測器の販売は増加いたしました。

また、のれん償却額などの販売費及び一般管理費が前年同期より減少いたしました。

この結果、売上高は24億95百万円（対前年同期比15.7%減）、セグメント利益は1億38百万円（対前年同期比94.5%増）となりました。

<その他>

その他におきましては、売上高は75百万円（対前年同期比32.2%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期は16百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は456億3百万円となり、前連結会計年度末残高410億74百万円と比べて45億29百万円増加いたしました。これは「受取手形及び売掛金」の増加7億2百万円、「電子記録債権」の増加5億70百万円、吸収分割により承継したこと等に伴う「商品及び製品」の増加6億37百万円及び「仕成品」の増加3億97百万円並びに「原材料及び貯蔵品」の増加2億94百万円、自動車税等の納付による「前払費用」の増加8億91百万円、未収入金の増加等による「その他」の増加6億80百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は820億86百万円となり、前連結会計年度末残高773億71百万円と比べて47億14百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「賃貸資産」の増加13億29百万円、吸収分割により承継したこと等に伴う「土地」の増加15億94百万円及び有形固定資産「その他」の増加14億66百万円並びに「投資有価証券」の増加5億1百万円、「繰延税金資産」の減少2億62百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は20百万円となり、前連結会計年度末残高29百万円と比べて9百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第2四半期連結会計期間末残高1,277億10百万円となり、前連結会計年度末残高1,184億76百万円と比べて92億34百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は451億77百万円となり、前連結会計年度末残高436億58百万円と比べて15億18百万円増加いたしました。これは「支払手形及び買掛金」の増加7億1百万円、「商業・ペーパー」の増加10億円、「1年内返済予定の長期借入金」の減少7億20百万円、「賞与引当金」の増加1億63百万円、未払金の増加等による「その他」の増加4億15百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は495億24百万円となり、前連結会計年度末残高446億80百万円と比べて48億44百万円増加いたしました。これは「長期借入金」の増加47億30百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第2四半期連結会計期間末残高947億1百万円となり、前連結会計年度末残高883億39百万円と比べて63億62百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は330億8百万円となり、前連結会計年度末残高301億36百万円と比べて28億72百万円増加いたしました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加32億94百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少4億42百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より91百万円増加し、14億73百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△8億22百万円（前年同期は△7億9百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が45億11百万円になったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「貸貸資産の純増減額（△は増加）」△73億99百万円が「減価償却費」68億7百万円を上回ったこと、「負ののれん発生益」が△11億45百万円になったこと、「売上債権の増減額（△は増加）」が△2億99百万円になったこと、「たな卸資産の増減額（△は増加）」が△2億87百万円になったこと、「リース投資資産の純増減額（△は増加）」が△3億61百万円になったこと、「法人税等の支払額」が△12億91百万円になったこと、自動車税等の納付による前払費用の増加等により「その他」が△12億23百万円になったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△35億67百万円（前年同期は△12億8百万円）となりました。これは主に、連結子会社の「吸収分割による支出」△21億20百万円、自動車リース関連事業における車両販売に係るヤード用地の取得及びパーキング事業における機器及び構築物の取得等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△10億97百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、44億80百万円（前年同期は15億5百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」121億円及び「コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）」10億円が「借入金の返済による支出」△79億91百万円及び「配当金の支払額」△4億42百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では、2018年9月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,382 | 1,552 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,563 | 12,265 |
| 電子記録債権 | 1,169 | 1,740 |
| リース・メンテナンス未収入金 | 2,310 | 2,318 |
| リース投資資産 | 17,374 | 17,552 |
| 商品及び製品 | 3,177 | 3,815 |
| 仕掛品 | 196 | 593 |
| 原材料及び貯蔵品 | 445 | 740 |
| 前払費用 | 2,292 | 3,184 |
| その他 | 1,165 | 1,846 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 流動資産合計 | 41,074 | 45,603 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸貸資産 | | |
| 減価償却累計額 | △63,341 | △64,261 |
| 貸貸資産(純額) | 50,007 | 51,336 |
| 土地 | 5,967 | 7,561 |
| その他 | 16,073 | 18,025 |
| 減価償却累計額 | △8,338 | △8,823 |
| その他(純額) | 7,735 | 9,201 |
| 有形固定資産合計 | 63,709 | 68,100 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,873 | 1,739 |
| その他 | 2,703 | 2,869 |
| 無形固定資産合計 | 4,577 | 4,608 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,428 | 4,929 |
| 長期前払費用 | 1,731 | 1,769 |
| 繰延税金資産 | 1,121 | 858 |
| その他 | 1,940 | 1,943 |
| 貸倒引当金 | △137 | △123 |
| 投資その他の資産合計 | 9,084 | 9,377 |
| 固定資産合計 | 77,371 | 82,086 |
| 繰延資産 | 29 | 20 |
| 資産合計 | 118,476 | 127,710 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,865 | 10,566 |
| 電子記録債務 | 1,265 | 1,255 |
| 短期借入金 | 4,200 | 4,300 |
| コマーシャル・ペーパー | 1,000 | 2,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 5,342 | 5,242 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 17,433 | 16,713 |
| リース債務 | 35 | 25 |
| 未払法人税等 | 1,141 | 1,123 |
| リース・メンテナンス前受金 | 747 | 745 |
| 賞与引当金 | 482 | 645 |
| 品質保証引当金 | 7 | 6 |
| その他 | 2,138 | 2,553 |
| 流動負債合計 | 43,658 | 45,177 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 5,143 | 5,071 |
| 長期借入金 | 37,156 | 41,886 |
| リース債務 | 16 | 14 |
| 退職給付に係る負債 | 1,488 | 1,507 |
| 役員退職慰労引当金 | 158 | 150 |
| 資産除去債務 | 372 | 381 |
| その他 | 345 | 512 |
| 固定負債合計 | 44,680 | 49,524 |
| 負債合計 | 88,339 | 94,701 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,529 | 2,529 |
| 資本剰余金 | 1,805 | 1,805 |
| 利益剰余金 | 24,432 | 27,284 |
| 自己株式 | △14 | △14 |
| 株主資本合計 | 28,752 | 31,604 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,445 | 1,444 |
| 繰延ヘッジ損益 | △9 | 8 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △51 | △48 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,383 | 1,404 |
| 純資産合計 | 30,136 | 33,008 |
| 負債純資産合計 | 118,476 | 127,710 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 40,756 | 42,654 |
| 売上原価 | 31,000 | 32,524 |
| 売上総利益 | 9,755 | 10,129 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 416 | 416 |
| 給料手当及び賞与 | 2,126 | 2,173 |
| 賞与引当金繰入額 | 488 | 497 |
| 退職給付費用 | 124 | 119 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 15 | 15 |
| 貸倒引当金繰入額 | 16 | △3 |
| 品質保証引当金繰入額 | 5 | 1 |
| のれん償却額 | 270 | 134 |
| その他 | 3,210 | 3,439 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,674 | 6,795 |
| 営業利益 | 3,081 | 3,334 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 37 | 39 |
| 仕入割引 | 27 | 28 |
| その他 | 31 | 34 |
| 営業外収益合計 | 96 | 102 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 46 | 25 |
| 支払手数料 | 10 | 8 |
| その他 | 15 | 15 |
| 営業外費用合計 | 72 | 50 |
| 経常利益 | 3,105 | 3,386 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却益 | 2 | 4 |
| 国庫補助金 | 28 | 326 |
| 負ののれん発生益 | — | 1,145 |
| 特別利益合計 | 31 | 1,476 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 15 | 23 |
| 投資有価証券評価損 | — | 0 |
| 固定資産圧縮損 | 28 | 326 |
| 特別損失合計 | 44 | 350 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,092 | 4,511 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,265 | 1,294 |
| 法人税等調整額 | △97 | △77 |
| 法人税等合計 | 1,167 | 1,217 |
| 四半期純利益 | 1,924 | 3,294 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,924 | 3,294 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,924 | 3,294 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 659 | △1 |
| 繰延ヘッジ損益 | 7 | 17 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 673 | 20 |
| 四半期包括利益 | 2,598 | 3,315 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,598 | 3,315 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,092 | 4,511 |
| 減価償却費 | 6,444 | 6,807 |
| のれん償却額 | 270 | 134 |
| 負ののれん発生益 | — | △1,145 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 16 | △3 |
| 受取利息及び受取配当金 | △38 | △39 |
| 支払利息 | 46 | 25 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 472 | △299 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △87 | △287 |
| リース投資資産の純増減額 (△は増加) | △281 | △361 |
| 貸貸資産の純増減額 (△は増加) | △7,383 | △7,399 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,300 | △284 |
| 利息及び配当金の受取額 | 38 | 39 |
| 利息の支払額 | △46 | △16 |
| 法人税等の支払額 | △909 | △1,291 |
| 法人税等の還付額 | 0 | 9 |
| その他 | △1,043 | △1,223 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △709 | △822 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,230 | △1,097 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 2 | 0 |
| 固定資産の除却による支出 | △3 | △144 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △12 | △213 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 7 | 5 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 29 | — |
| 吸収分割による支出 | — | △2,120 |
| その他 | △1 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,208 | △3,567 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 100 | 100 |
| 短期借入金の返済による支出 | △25 | — |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | — | 1,000 |
| 長期借入れによる収入 | 10,200 | 12,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △8,107 | △7,991 |
| 社債の償還による支出 | △181 | △171 |
| リース債務の返済による支出 | △2 | △4 |
| 配当金の支払額 | △467 | △442 |
| その他 | △10 | △9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,505 | 4,480 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △412 | 91 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,535 | 1,382 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,123 | 1,473 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-------------------|--------------------|------------|-------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 自動車 リース 関連事業 | ケミカル 事業 | パーキング 事業 | 機械工具 販売事業 | 合成樹脂 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,171 | 5,439 | 2,660 | 6,468 | 2,958 | 40,699 | 56 | 40,756 | — | 40,756 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 56 | 95 | 0 | 14 | 1 | 167 | 0 | 168 | △168 | — |
| 計 | 23,227 | 5,535 | 2,661 | 6,483 | 2,960 | 40,867 | 56 | 40,924 | △168 | 40,756 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,890 | 697 | 318 | 110 | 71 | 3,089 | △16 | 3,072 | 8 | 3,081 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3) |
|-------------------|--------------------|------------|-------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------------------|
| | 自動車 リース 関連事業 | ケミカル 事業 | パーキング 事業 | 機械工具 販売事業 | 合成樹脂 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,255 | 5,320 | 2,807 | 7,703 | 2,491 | 42,579 | 74 | 42,654 | — | 42,654 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 69 | 96 | 0 | 8 | 3 | 177 | 0 | 178 | △178 | — |
| 計 | 24,325 | 5,416 | 2,807 | 7,712 | 2,495 | 42,756 | 75 | 42,832 | △178 | 42,654 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,919 | 596 | 435 | 259 | 138 | 3,349 | △24 | 3,325 | 8 | 3,334 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。